

- 問1 西アジアを流れるチグリス川とユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明において、粘土で作られた板に、尖った棒のようなもので刻み込まれた文字を何といいますか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. フェニキア文字 2. くさび形文字 3. 甲骨文字 4. 象形文字（ヒエログリフ）
- 問2 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈沿いの地域において、15世紀から16世紀にかけて繁栄した先住民の国家について述べたものとして正しい名称を選びなさい。この国家は、マチュピチュに代表される精巧な石造建築技術を持っていたことで知られています。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. モンゴル帝国 2. オスマン帝国 3. インカ帝国 4. ムガル帝国
- 問3 18世紀後半から、オーストラリアがイギリスの支配下に置かれ、開拓や資源の獲得の拠点となっていた歴史的な状態を指す用語として、最も適切なものを選択してください。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 植民地 2. 自治領 3. 保護国 4. 委任統治領
- 問4 古代のイタリア半島を中心に発展したある国家の歴史的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 地中海東岸で興り、シルクロードを通じて中国の長安と直接的な政治同盟を結んでいた。 2. 紀元前6世紀に直接民主政を確立し、地中海統一後も小規模な都市国家の連合体を維持した。 3. イタリア半島を拠点としながらも、共和制を経験せずに最初から強力な皇帝による専制政治が行われた。 4. 紀元前6世紀に共和制が始まり、地中海沿岸の広い地域を統一して巨大な帝国へと発展した。
- 問5 古代中国で成立した「殷」という国家に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. チグリス川・ユーフラテス川の流域におこり、太陰暦や六十進法を生み出した。 2. ナイル川の流域におこり、ピラミッドや神殿を建設した。 3. インダス川の流域におこり、計画的な都市や排水施設をつくった。 4. 黄河流域におこり、亀の甲や牛の骨に文字を刻んで記録を残した。
- 問6 オーストラリアの都市であるメルボルンにおいて、ヨーロッパ諸国の都市に見られるような重厚な石造りの建築物や教会が立ち並び景観が形成された歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
1. 金鉱の発見以降、多国籍な移民がそれぞれの国の様式を持ち寄って折衷的な街作りを行ったため 2. アメリカ合衆国の統治下で、キリスト教の布教とともに西洋的な都市開発が進められたため 3. イギリスによる植民地支配を受け、支配国の文化や建築様式が強く反映されたため 4. オランダがインド洋貿易の拠点として開発し、自国の港町を模した景観を作り上げたため
- 問7 古代ギリシャにおいて、山がちな地形や島々が点在する地理的要因もあり、各地に形成された小規模な独立した政治単位である「都市国家」を何と呼びますか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 封建領主 2. 帝政 3. 共和政 4. ポリス
- 問8 紀元前2500年ごろ、現在のパキスタン付近を流れる大河の流域に成立し、高度な都市文化を形成した文明について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
1. ティグリス川・ユーフラテス川流域で栄え、楔形文字や太陰暦を生み出したメソポタミア文明 2. 黄河流域で栄え、青銅器の使用や甲骨文字を特徴とする黄河文明 3. インダス川流域で栄え、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市遺跡を特徴とするインダス文明 4. ナイル川流域で栄え、ピラミッドの造営や象形文字の使用を特徴とするエジプト文明
- 問9 古代のエジプトにおいて、太陽暦の作成や測量技術が発達した理由として、最も適当なものはどれですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 広大な領土を統一するために、王の権力を示す大型の建築物を建てる必要があったから。 2. 他地域との貿易を盛んに行うため、船の航海に必要な星の動きを観察したから。 3. 乾燥した砂漠地帯で水を確保するために、地下水路を建設する必要があったから。 4. ナイル川が定期的に増水するため、農作業の時期や土地の再測定が必要だったから。
- 問10 古代アテネの民主政において、政治に参加する権利（参政権）を持っていた人々の範囲について述べた説明として、正しいものを選びなさい。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
1. アテネに居住する、成人男性の市民のみ 2. アテネに居住する、女性や奴隷を含む全ての成人 3. 土地を所有する貴族と、その家族全員 4. 一定の納税額を満たした、在留外国人を含む男性
- 問11 南アメリカ大陸の歴史的背景について述べた次の説明のうち、16世紀以降のスペインによる植民地支配の影響を正しく示しているものはどれですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. インカ帝国などの先住民の国家が滅ぼされ、ヨーロッパ流の都市や制度が造られた 2. ブラジルを中心にポルトガル語が広まり、東回りの航路で伝わった文化が融合した 3. 仏教やイスラム教がアジアから持ち込まれ、現地の伝統的な信仰と結びついた 4. 北アメリカと同様に、主にイギリスからの移住者が農業を基盤とした植民地を築いた
- 問12 紀元前1600年ごろに成立した中国の殷の都の跡からは、亀の甲羅や動物の骨に鋭い線で刻まれた原始的な文字が数多く出土しています。この文字が使用された主な目的として正しいものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 周辺諸国との交易を行う際の品目や数量を管理するための事務処理 2. 政治や軍事などの重要な事柄を決定するための占いの記録 3. 民衆に対して国家の法律や道徳を広く周知するための布告文 4. 支配者の功績を後世に伝えるために青銅器の表面に鑄込むための装飾
- 問13 11世紀末から始まった聖地エルサレムの奪還を目指す十字軍の遠征が、その後のヨーロッパ社会に与えた歴史的な影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. イスラム教の教えがヨーロッパ全土に浸透した結果、キリスト教に基づいた中世の封建社会が崩壊し、新しい宗教国家が誕生した。 2. エルサレムを恒久的に奪還するという当初の目的は達成できなかったが、イスラム世界との接触を通じて東西の文化や経済の交流が活発になった。 3. 聖地の奪還に完全に成功したことで、ローマ教皇の権威が絶頂に達し、イスラム勢力は地中海から完全に駆逐された。 4. 遠征による戦乱が続いたことで地中海貿易は完全に途絶え、ヨーロッパの都市は経済的に衰退して自給自足の生活に戻った。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 くさび形文字	現在のイラク付近にあたるチグリス川・ユーフラテス川流域では、紀元前3000年ごろからメソポタミア文明が発展しました。この地域では河川から得られる粘土が豊富であったため、乾燥させる前の粘土板に、葦（あし）の茎などを押し当てて鋭い線を組み合わせた「くさび形文字」を刻んで記録を残しました。エジプト文明の象形文字や中国の甲骨文字と並び、古代文明を象徴する文字の一つです。
問2	答え 3 インカ帝国	南アメリカのアンデス山脈の高地に築かれたこの文明は、文字を持たない代わりに「キープ（結縄）」という紐の結び目で数字などを記録していました。車輪や鉄器、大型の家畜を持たなかったにもかかわらず、巨大な石を精密に組み上げる高度な建築技術や、広大な領土を結ぶ道路網を整備していたことが特徴です。
問3	答え 1 植民地	1788年にイギリスの船団がシドニーに到着して以降、オーストラリアはイギリスの流刑地や定住地として開発されました。このように、ある国が自国の主権を国外に広げ、軍事的・経済的に支配した土地を植民地と呼びます。当初は先住民であるアボリジニの居住地でしたが、イギリスはこれらを「無主の地」として支配を強めました。
問4	答え 4 紀元前6世紀に共和制が始まり、地中海沿岸の広い地域を統一して巨大な帝国へと発展した。	この国家は、紀元前6世紀末に王を追放して共和制を開始しました。その後、ポエニ戦争などの有力な敵対勢力との戦いを経て、イタリア半島から地中海全域へと領土を拡大しました。紀元前1世紀末には、それまでの共和制から、実権を握る皇帝が統治する帝政へと移行し、長期間にわたる平和と繁栄を享受することとなりました。
問5	答え 4 黄河流域におこり、亀の甲や牛の骨に文字を刻んで記録を残した。	殷は中国最古の王朝とされる国家で、黄河流域の肥沃な土地を背景に発展しました。占いに使われた文字は、のちに周辺諸国の文化にも大きな影響を与えることになります。他の選択肢は、それぞれエジプト文明、インダス文明、メソポタミア文明の特徴を説明したものです。
問6	答え 3 イギリスによる植民地支配を受け、支配国の文化や建築様式が強く反映されたため	18世紀後半から始まったイギリスによるオーストラリアの植民地支配により、都市計画や建築においてもヨーロッパ様式が導入されました。メルボルンの石造りの建築や教会の存在は、当時の支配国であったイギリスの影響を色濃く示しており、植民地時代の歴史的背景を物語っています。
問7	答え 4 ポリス	古代ギリシャでは、平野が狭く山地が多いという地形的特徴から、一つの大きな国家にまとまるのではなく、アテネやスパルタのような「ポリス」と呼ばれる独立した都市国家が多数誕生しました。各ポリスは城壁で囲まれた市街地と農地を持ち、独自の軍隊や法律を備えていました。
問8	答え 3 インダス川流域で栄え、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市遺跡を特徴とするインダス文明	現在のパキстанを流れるインダス川流域は、国土の大部分が乾燥帯に属していますが、大河の氾濫による肥沃な土地を利用して文明が発達しました。この文明の最大の特徴は、整然とした道路や上下水道が完備された計画的な都市が建設されたことにあります。世界遺産にも登録されているモヘンジョ・ダロはその代表例であり、現代の日本からも遺跡の保全のために援助が行われています。
問9	答え 4 ナイル川が定期的に増水するため、農作業の時期や土地の再測定が必要だったから。	ナイル川は毎年決まった時期に増水するため、その時期を正確に知るための太陽暦が作られました。また、増水によって農地の境界線が消えてしまうことから、土地を正しく測り直すための測量技術が発達しました。
問10	答え 1 アテネに居住する、成人男性の市民のみ	アテネの民主政は「全市民による政治」とされていますが、当時の「市民」の定義は現代よりも限定的でした。参政権が認められていたのは「成人男性の市民」だけであり、女性、奴隷、および在留外国人は、民会への参加や投票を行う権利を持っていませんでした。
問11	答え 1 インカ帝国などの先住民の国家が滅ぼされ、ヨーロッパ流の都市や制度が造られた	スペインから派遣された征服者（コンキスタドル）たちは、現在のペルー周辺に栄えていたインカ帝国などを滅ぼし、その地に植民地を建設しました。この過程で先住民の社会構造は破壊され、スペイン式の統治制度やキリスト教が導入されることになりました。なお、南アメリカでポルトガルの支配を受けたのは主に現在のブラジルにあたる地域です。
問12	答え 2 政治や軍事などの重要な事柄を決定するための占いの記録	殷（商）の時代、王は神意を問う「占い」によって、戦争の成否や収穫の見通しなどの国政を決定していました。亀の甲羅や牛の肩甲骨に熱を加え、生じたひび割れの形によって吉凶を判断し、その結果を刻みつけたものが甲骨文字です。これは現在私たちが使用している漢字の直接の祖先にあたります。
問13	答え 2 エルサレムを恒久的に奪還するという当初の目的は達成できなかったが、イスラム世界との接触を通じて東西の文化や経済の交流が活発になった。	十字軍は宗教的な情熱から始まった軍事遠征でしたが、軍事的な成功は一時的なものとどまり、最終的にエルサレムを維持することはできませんでした。しかし、この遠征によってヨーロッパ人はイスラム世界の高度な科学や学問、文化に触れることとなり、地中海を通じた香料などの東西交易が盛んになるなど、後のヨーロッパの発展に大きな影響を与えました。